

敬馬田其の 三人

高松次郎
若林奮
李禹煥

版という場所

Museum Collection I

Three Masters of Contemporary Art:
TAKAMATSU Jiro, WAKABAYASHI Isamu, and LEE Ufan

2021年4月17日[土]—6月13日[日]

※会期中一部展示替えを行います。

前期:4月17日[土]—5月16日[日]、後期:5月18日[火]—6月13日[日]

世田谷美術館 2階展示室

主催:世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団)

協力:シロタ画廊、Yumiko Chiba Associates、WAKABAYASHI STUDIO

開館時間:午前10時~午後6時(入場は午後5時30分まで)

休館日:毎週月曜日

*ただし、5月3日[月・祝]は開館。5月6日[木]は休館。

観覧料:一般200(160)円、大高生150(120)円、65歳以上/中小生100(80)円

*()内は20名以上の団体料金。*障害者の方は100円。ただし、小・中・高・大学生の障害者

は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。*小・中学生は土、日、祝・休日は無料。

*同時開催の企画展チケットで本展をご覧いただけます。

展覧会のご案内:050-5541-8600(ハローダイヤル)

世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

Tel. 03-3415-6011(代表)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

驚異の三人!

高松次郎・若林奮・李禹煥
—版という場所で—



高松次郎《アンドロメダA-1》
1989年、スクリーンプリント、The Estate of Jiro Takamatsu 蔵
©The Estate of Jiro Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates



李禹煥《Dialogue 2019 1》
2019年、木版、シロタ画廊蔵
©LEE Ufan, Courtesy of Shirota Gallery

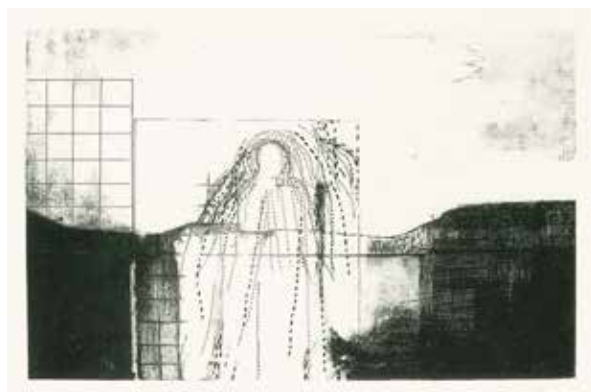
日本の現代美術を語るうえで常に重要な位置を占める、高松次郎(1936-1998)、若林奮(1936-2003)、李禹煥(1936-)。

三人とも立体と平面という境界を跨いで旺盛に作品を制作・発表しています。そのなかでも、1970年代以降、積極的に「版」による表現に向き合ってきたことは注目に値するでしょう。

高松次郎は1980年代末にスクリーンプリントによる連作に取り組みました。版の重ね合わせやインクの色を変え、そこから生まれる形を確認していく作業は、同時期の油彩作品の制作と関連したものを見ることができます。若林奮は金属による彫刻とともに版画も数多く制作してきました。版を繋ぎ合わせて画面を構成した作品や、過去の版に手を加え刷り直した作品もあり、金属板を手にして彫刻と版画を行き来していたことがわかります。李禹煥は今なお継続的に版画を手掛けて発表しています。絵画よりも自分と距離を置くことができ、他者性が入るメディアである版画を中間項と考え、そこで試みたものを絵画に移そうとしている——とも語っています。

このように見ていくと、それぞれが「版」を媒介とすることで、制作についての思索を深化させていったともいえるかもしれません。三人の創造の軌跡を再考する機会ともなる「版」の世界を、お楽しみください。

本展覧会は昨年春に開催を予定していた「驚異の三人!! 高松次郎・若林奮・李禹煥—版という場所で—展」を、ミュージアム コレクション(当館収蔵品展)の枠組みで再構成したものです。
上記展覧会にあわせて制作したカタログ(四六判上製本、全216頁)を販売しています。



若林奮《21, 34-VALENCE-7》
1975年、リトグラフ、WAKABAYASHI STUDIO 蔵
©WAKABAYASHI STUDIO

小コーナー展示

追悼—安齊重男

昨年8月に逝去した写真家・アートドキュメンタリストの安齊重男(1939-2020)の作品を、当館のコレクションよりご紹介します。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び抑制のため、ご入館に際し、マスクの着用、検温のご協力をお願いしております。混雑時は入場制限をさせていただく場合がございます。
※展覧会の会期等が、急遽変更や中止となる場合もございます。最新情報は、当館ホームページ等でお知らせします。

同時開催展

アイノとアルヴァ 二人のアールト
フィンランド—建築・デザインの神話
2021年3月20日[土・祝]—6月20日[日]
※日時指定予約が必要です

次回展覧会

ミュージアム コレクション 特別篇
グローバル化時代の現代美術
—“セタビ”のコレクションで楽しむ世界旅行
2021年7月3日[土]—8月22日[日]

世田谷美術館

SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園 1-2
TEL. 03-3415-6011(代表)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>
展覧会のご案内: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

- 東急田園都市線「用賀」駅下車 北口から徒歩17分、もしくは美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車 南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バスC「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(無料、60台)東名高速道路高架下 厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

